



米本 隆記 議員

巡回バスの復活は

町長

外出しやすいように検討する

【米本】選挙戦の中で町民に約束した、次の選挙公約にどう取り組む考えか。

公共交通巡回バスの復活は。

【町長】デマンドバスの利用者には、少し不便をかけている部分もある。巡回バスの復活なども手段の一つとして町民がさらに外出しやすいように検討する。

【米本】高校生の通学助成は。

【町長】現在検討中であるが、公共交通機関の2分の1を助成した時最大で2000万円になる。今後、詳細を詰めて早い段階で議会に提案する。

【米本】不適切事務の解明は。

【町長】商工会の件は刑事事件として告発している。NPO法人の件は住民訴訟を受けているので司法の判断を仰ぎたい。ほかの案件も所轄署に随時、報告・相談をしている。

自主組織に求めるものは

町長

行政と協働したまちづくり



世代を超えて楽しいつどい

【米本】各校区に地域自主組織が設立されている。しかし、本来あるべき姿と多少違いがあると感じている。この組織に求めるものはなにか。

【町長】地域内で担い手になってもらう人材の発掘や育成、支えあいの活動を通じて集落機能の補完や、集落間の交流促進などの役割を期待している。

また、行政の仕事の一部を担ってもらい協働したまちづくりを進めたい。

鳥獣被害の対策は

町長

現在の補助制度を継続する

【米本】農産物に鳥獣被害が近年多く発生している。しかし、農家の被害対策にも限度があると考える。被害減少に寄与することは行政の務めと思うが、どう対策を講じる考えか。

【町長】猟友会への駆除委託や捕獲にかかる奨励金の交付、電気柵など侵入防止にかかる支援、狩猟免許の新規取得や更新経費の補助を継続する。

また、新たな取り組みとしてイノシシ肉の特産品化にむけ、大山ジビエ振興会と施設整備に向けて協議中である。



やっかいもののイノシシもおいしい食材に